

平成30年6月定期総会 議事に関する説明

特定非営利活動法人 産学連携学会
会長 木村雅和



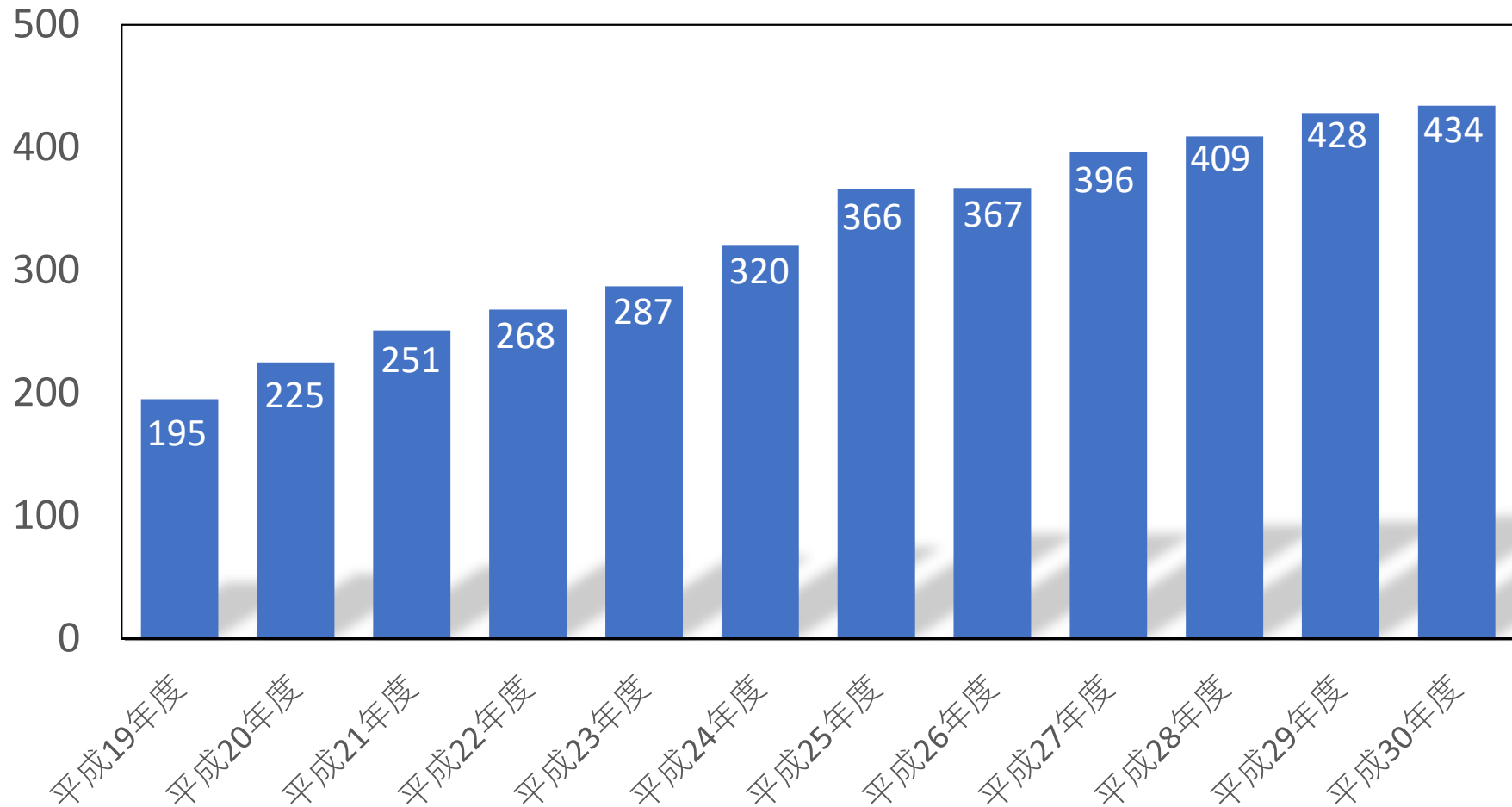
第8期運営の基本

『新しい価値の創生』

(学会員のための学会)

⇒ 原点に立ち、会員のための学会

会員数推移



皆さんの活動のおかげで会員数は増加傾向となっています
(10年間で会員数は2.2倍)

1. 学会誌，研究大会の充実

1. **大会の開催**：平成29年6月15日～16日第15回大会を宇都宮市において開催
(参加者数488名、発表件数155件)
2. **海外学会との交流**：第15回大会で韓国の産学協力学会と日韓ワークショップを開催、
また、平成29年10月26日、27日に済州島で韓国産学協力学会の主催で開催された
韓日産学連携カンファレンスに本学会より5名が参加
3. **学会誌の発行**：学会誌「産学連携学」第13巻第2号(平成29年6月15日)
第14巻第1号(平成30年1月20日)を発行
4. **シンポジウムの開催**：平成29年11月7日に「医療イノベーション創出に向けて、産学
官連携の在り方を事例から考える」をテーマに開催

II. 支部・研究会活動の活性化

各支部活動

1. **北海道支部**:産学官交流会「イノベーション・ダイアログ」を開催(平成30年2月26日:札幌市)、学金連携シンポジウムの開催(学金連携システム研究会共催、平成30年3月8日:北見市)
2. **東北・北関東支部**:「第4回東日本リエゾンカンファレンスin弘前2017」を開催(北海道支部共催、平成29年9月14日~15日:弘前市)、産学官金共創セミナーを開催(平成29年10月11日:仙台市)
3. **関西・中四国支部**:第9回研究・事例発表会を開催(平成29年11月29日~30日:徳島市)
4. **九州支部**:平成29年度産学連携ネットワーク会議を開催(平成30年3月13日:熊本市)

II. 支部・研究会活動の活性化

研究会活動

1. **学連連携システム研究会**: 第18回研究会の開催(北海道支部共催、平成30年3月8日:北見市)
2. **オープンイノベーション研究会**: オープンイノベーションの先行事例、支援システムの紹介等を進めるための議論を重ね、事業提案を行った。
3. **リサーチ・アドミニストレーション研究**: 第6回研究会を開催(平成29年6月14日:宇都宮市)、大会オーガナイズドセッションを開催(平成29年6月15日:宇都宮市)、第7回研究会を開催(平成29年9月2日:目黒区)、第8回研究会を開催(平成30年3月10日:目黒区)
4. **地域社会実装研究会**: 発足 第1回研究会の開催(平成30年2月27日:高知市)

III. その他の活動

1. **ニュースレターの発行**: ニュースレター30号～31号を発行
2. **メールニュースの発行**: 第800号～第898号発行(98回)
3. **お茶の水コラボレーションセミナー**: 東京都市ヶ谷JST東京本部別館会議室にて第24回～第28回(全5回)のセミナーを開催(平成29年5月16日、7月12日、9月13日、12月14日、平成30年2月14日)
4. **各種イベントや展示会での出展**: 「アグリビジネス創出フェア2017」への出展(平成29年10月4日～6日、江東区)(研究促進委員会)
5. **後援事業**: 「研究・イノベーション学会 第1回プロデュース研究講座」(平成29年7月7日:港区)、「アグリビジネス創出フェア2017」(平成29年10月4日～6日、江東区)「輸出管理 DAY FOR ACADEMIA 2018」(平成30年2月27日:江東区)の3件

2号議案：平成29年度決算報告

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
入会金	225,000	
会費収入	4,954,400	5,179,400
2 事業収益		
研究事業	4,089,000	
啓発事業	398,000	
講演・研修事業	300,000	4,787,000
3 その他収益		
受取利息	75	
雑収入	1,344	1,419
経常収益計		9,967,819
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	405,400	
謝金	273,433	
人件費計	678,833	
(2) その他経費		
会議費	1,550,102	
会場費	661,495	
旅費交通費	331,678	
通信費	479,906	
印刷費	2,877,463	
消耗品費	44,811	
事務用品費	17,575	
支払手数料	525,970	
情報交換会費	283,831	
雑費	56,160	
その他経費計	6,828,991	
事業費計		7,507,824
2 管理費		
(1) その他経費		
通信費	398,367	
印刷費	182,520	
消耗品費	0	
事務用品費	44,242	
支払手数料	128,802	
外注費	2,592,000	
減価償却費	13,620	
租税公課	2,000	
諸会費	30,000	
雑費	1,080	
その他経費計	3,392,631	
管理費計		3,392,631
経常費用計		10,900,455
当期経常増減額		-932,636
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
当期正味財産増減額		-932,636
前期繰越正味財産額		4,978,355
次期繰越正味財産額		4,045,719

会員は微増であるが、会費収入が約40万円減収

啓発事業収入が約30万円の減収(入門書等購入)

講演事業における旅費交通費の増額(約15万円)

通信費の増額約14万円(郵送費の料金改定による)

学会誌、ニュースレター等の印刷費の増額(約220万円)、5年前と比較すると倍増

郵送費の改定による増額、シクミネット導入による増額(約22万円)、シクミネット導入費は5万円

封筒印刷が主で、約13万円増

決算全体では4,045,719円の黒字ですが、29年度は単年度収支で932,636円の赤字となりました

3号議案：平成30年度事業計画

1. **大会の開催**：第16回大会を山口市において開催
2. **学会誌の発行**：「産学連携学」を年2回発行する
3. **秋季シンポジウムの開催**：12月に文京区で開催
4. **海外学会との交流**：韓国の産学協力学会と日韓ワークショップを開催
(12月6日～7日：高知市)
5. **情報発信**：ニュースレター(年3回)、メールニュース(随時)の発行
6. **新規参加者の開拓**：支部、研究会活動の強化
7. **お茶の水コラボレーションセミナー**：年4回程度の開催
8. **各支部、研究会活動**

4号議案：平成30年度事業予算計画

科 目	金 額	
I 増加原因の部		
1. 受取会費		
入会金	270,000	
会費収入	5,213,400	5,483,400
2. 事業収益		
研究事業	3,400,000	
啓発事業	700,000	
講演・研修事業	300,000	4,400,000
3. その他収益		
受取利息	600	600
合計		9,884,000
II 減少原因の部		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	400,000	
謝金	300,000	
人件費計	700,000	
(2) その他経費		
会議費	1,550,000	
旅費交通費	250,000	
通信費	200,000	
印刷費	2,300,000	
会場費	700,000	
消耗品費	52,000	
事務用品費	30,000	
支払手数料	550,000	
情報交換会費	500,000	
その他経費計	6,132,000	
事業費計		6,832,000
2. 管理費		
(1) その他経費		
通信費	280,000	
印刷費	10,000	
消耗品費	15,000	
事務用品費	40,000	
支払手数料	80,000	
外注費	2,592,000	
租税公課	5,000	
諸会費	30,000	
その他経費計	3,052,000	
管理費計		3,052,000
		9,884,000
当期正味財産増減額		0
前期繰越正味財産額		4,045,719
期末正味財産合計額		4,045,719

回収および増強による増収(+30万円)

啓発事業促進(+30万円、入門書等販売等)

委員会旅費規程中断(-10万円)

通信費の削減(-30万円)

印刷費の削減(-60万円)

通信費、印刷費等の削減(-20万円)

学会の魅力向上を本質的議論を進めながら
単年度収支の黒字化を目指します！

5号議案：平成30年度表彰者

業績賞：大学等研究成果活用推進支援プラットフォーム（URAPP）

佐竹 弘 氏

高田 雅弘 氏

上田 昇 氏

芝原 靖典 氏

論文賞：野田 誠一 氏

「国立大学法人における産学官連携活動を駆動している要因について
－産学官連携活動実績と学内学外の環境の関係－」

産学連携学 第13巻第二号掲載

功労賞、特別賞：推薦募集期間に推薦がなく該当なし

ありがとうございました